

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

- 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
- 大藏大臣 法學博士 阪谷芳郎
- 遞信大臣 山縣伊三郎
- 外務大臣 子爵林 董

明治四十年二月二十一日(官報二月二十二日)

御名 御璽

公布セシム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約

年	大五十八年	大五十九年	大五十八年	大五十九年	自六十年	至六十年
月	六	六	六	六	六	六
日	六	六	六	六	六	六
時	六	六	六	六	六	六
分	六	六	六	六	六	六
秒	六	六	六	六	六	六
...	...	...	...	...	...	...

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ竝社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關嶺旅順間、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯撫順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸業竝鐵道便益ノ爲鑛業殊ニ撫順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年內ニ四呎八吋半ノ軌間ニ改築シ大連長春間ノ內大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯藏ニ必要ナル諸設備ヲ爲シ線路ノ港灣ニ達スル地點ニ於テ水陸運輸ノ連絡ニ必要ナル設備ヲ爲スコト

二 資本總額ハ金四億四千萬圓トシ每營業年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ設立登記ノ日ヨリ起算シ十五箇年間ヲ限

リ之ヲ補給スルコト(大正九、八、一改正)

三 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト

四 每營業年度ニ於ケル利益配當カ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト

五 鐵道ノ改築又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト

六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セサルコト

前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ

要ス(明治四三、三、二六改正)

七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年内ニ償還スルコト

八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込登記ノ翌月ヨリ政府ハ其ノ社債ノ利子ニ相當スル金額ヲ補給スルコト

九 株主ノ拂込金ニ對スル利益配當年六分ノ割合ヲ超過スルニ至リタルトキハ其ノ超過ノ金額ハ先ツ社債ノ利子ニ充當スルコト此ノ場合ニ於テハ前項補給金ハ該充當額ヲ控除シテ下付スルコト

十 會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尙ホ剩餘アルトキハ該殘額ハ總株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ルマテ之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スルコト但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス(大正三、三、二八但書追加、同八、四、五及同九八、一但書中改正)

十一 第二項及第八項ニ規定シタル政府ノ補給金ハ之ニ年六分ノ割合ノ利子ヲ付シ之ヲ毎年元金ニ加算シ政府ニ對スル會社ノ債務トスルコト

十二 會社ノ總株式ニ對スル利益配當カ年一割ノ割合ヲ超過スルニ至リタルトキハ其ノ超過額ハ前項債務ノ償還ニ充ツルコト





予論議ノ結果ハ之モ吾國スヘシクハ適キハ諸君ニ知ハハハ其ノ十一十二  
然レイ子孫ニ予論英蘭諸國如兼ホ欲五土ニ氣ヲ向爾時毒毒ノ吾國ナハ加計評  
ニ付之知

爾マ要スハハ加計ノ下時支那諸國ニ關スル五六七八九ニ議チスルニ其ノ意  
歸ノ要トセ又加計時子ノ諸國子實國土其ノ要ヲ給メ給メ給メ給メ給メ給メ  
適當ノ諸國ノ諸國ハ其ノ諸國ノ諸國ニ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ  
爾示達ニ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ給メ  
其 君

關 風 回 指 箱 封 選

聖 壽 萬 壽 萬 壽 萬 壽

南 滿 洲 鐵 道 料 友 會 報

滿 洲 四 年 二 月 二 十 日

ノ各項ヲ存續セラルルモ不得已候ト存候即チ此ノ場合ニハ左ノ通りト相成  
可申

前文中「其ノ利益配當及」ノ七字及「二三四及十ノ各項ヲ削ルコト  
但シ若シ議論アラハ一ノ削除ハ必スシモ固執ノ必要無之候

併シ全然行政權ノ範圍内ニ屬シ議會ニ附議ノ必要ナキ利益配當制限ノ如キ  
ハ削除ノコト當然ト存候假ニ右條項カ強テ何等カノ條件トナリ居ルモノト  
考フルモ利益配當補給ノ關係ト見ルヨリ外無之右補給ノ現存セサルニ至レ  
ル今日ニ於テハ全ク存續ノ理由ナキモノニ有之候

尤モ右條項ヲ本契約條項ヨリ削ル主張ハ之ニヨリ取テ配當率ノ自由ヲ主張  
スル意味ニアラス配當ノ制限ハ三大臣命令書等ニヨリ政府ノ取締ヲ受クル  
モノナルニ付御改正案ノ實質ハ之ヲ政府命令書ノ改正ニ依ルコトニ致度所  
存ニ有之候右卑見迄 草々

追テ配當率改正ノミノ議會提案ハ如何ニモ増配希望ラシク見ヘ好マシカ  
ラサル次第故是非之レヲ避ケ度キ希望モ御諒察被下度候

〆ヤハ大業姑表之ニテ我々則チ各皇子臨臨察考可也  
 取テ諸富學幼五ノシノ私會與案ハ取附ニテ存諸各皇マシメ見ヘ我マシ  
 存ニ亦之對亦早長送 草々  
 子ノセハニ付輪也五案ノ實費ハ之ニ對命合書ノ如五ニ對ハロイニ疑對  
 スル意利ニテマテ適當ノ時期ハ三大引命合書ニモリ對テ取勝マ受ケル  
 次テ亦對謀ニ本業對對謀ニ對テ主張ハ之ニモリ取テ適當ノ自由ニ主張  
 ハ今日ニ列スハ全々存辭ノ懸由ナキ事ニ存之知  
 亦テハ子存益適當辭ノ懸辭イ見ルモリ代無之存辭辭ノ取替ナサムニ至  
 ハ附辭ノロイ當然イ存對知ニ存對謀ニ對テ對辭イナリ對ハ子ノイ  
 附之全然存對辭ノ懸國內ニ懸之懸會ニ對知ノ必要ナキ存益適當時期ノ取  
 附之甚之懸辭マハ一ノ附辭ハ之ニ子固時ノ必要無之知  
 簡文中「其ノ存益適當」ノ十字及「三三四」ノ十字ハ谷田マ附ルロイ  
 四申  
 〆谷田マ存辭ナシムル事不特對イ存對知マ其ノ懸合ニハ之ノ取リイ附則

協算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

南洋洲鐵道株式會社社債保證  
 南洋洲鐵道株式會社社債保證及社債利子補給社債元利支拂保證ニ關シ  
 二帝國議會ノ協贊ヲ經タル協算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要ス  
 ル件本文中「利益配當及」ヲ削リ條件中左ノ題改定ス

- 第二項 削除
- 第三項 削除
- 第七項 削除
- 第十項 但書ニ左ノ如ク追加ス  
 日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年四分三厘ノ割合ヲ超ユルニ至  
 リタルトキハ其ノ超ユル割合ヲ限度トシ株主ノ拂込金ニ對シ年二分ノ  
 割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ第二配當ヲ增加スルコトヲ得
- 第十一項中「第二項及」ヲ削ル

(4,1 德譯)



第十一條中「第二項」ヲ削除ス  
 同條中「第三項」ヲ削除ス  
 同條中「第四項」ヲ削除ス  
 同條中「第五項」ヲ削除ス  
 同條中「第六項」ヲ削除ス  
 同條中「第七項」ヲ削除ス  
 同條中「第八項」ヲ削除ス  
 同條中「第九項」ヲ削除ス  
 同條中「第十項」ヲ削除ス  
 同條中「第十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第二十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第三十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第四十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第五十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第六十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第七十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第八十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十一項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十二項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十三項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十四項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十五項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十六項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十七項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十八項」ヲ削除ス  
 同條中「第九十九項」ヲ削除ス  
 同條中「第一百項」ヲ削除ス

一、滿鐵豫算外契約ノ改定ノ要旨

明治四十年二月帝國議會ノ協贊ヲ經タル滿鐵豫算外契約ハ政府ニ於テ同  
 會社ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲其ノ社債元利ノ支拂ヲ保證ス  
 ルモノニシテ、十二項ニ且ルノ條件ヲ以テセルモノナリ。其後右條件中  
 ニハ數次改定ヲ加ヘラレタル所アリテ今日ニ及ヘルモノナルカ、今回更  
 ニ之ニ改定ヲ加ヘントスルモノニシテ其ノ要旨次ノ如シ  
 第一、本文中「利益配當ノ補給ヲナスコト」ヲ削除シ條件第二及第三ヲ削  
 除シ第十一項中「第二項」ヲ削除ス。利益配當ノ補給ハ條件第二及第  
 三ニ規定スル所ニシテ、毎營業年度ノ利益配當カ民間株主ノ拂込金ニ  
 對シ年六分ノ割合ニ連セサルトキハ、設立登記（即チ明治三十九年十  
 二月七日）ノ日ヨリ起算シ十五ヶ年間ヲ限り、民間株主ノ拂込金ノ年

二十八日)ノ日ヨリ該業々十正々半圓ヲ増シ、且同料主ノ儲及金ノ半  
 額ヨリ半六分ノ割合ニ徴サセムイキハ、獨立登國(即チ同前三十次半十  
 三ニ規定スル所ニシテ、該營業半圓ノ評並國債收買商利主ノ儲及金ニ  
 額ヨリ半十一郎中「第一郎二郎」ニ割額ス。評並國債ノ新額ハ新増額ニ五郎  
 額「本文中「評並國債ノ新増額マシスロイ」ニ割額ヨリ新増額ニ五郎三郎  
 ニシニ改定スル所ニシテ、其ノ其ノ受買夫ノ取  
 ニハ該天定額ヲ取ルヘシトスル所ナリ、今日ニ及ヘム所ナリ、今日更  
 ムチノニシマ、十二郎ニ五郎ノ新増額ニ及マシム所ナリ。其増額中  
 會場ノ評並國債及同前所子ノ新増額及シ、其ノ其ノ受買夫ノ取  
 同前所子ノ新増額及シ、其ノ其ノ受買夫ノ取  
 同前所子ノ新増額及シ、其ノ其ノ受買夫ノ取

一、新増額其代受買夫ノ取及シ、其ノ其ノ受買夫ノ取

六分ノ割合ヲ超ヘサル金額ヲ補給スルコトトナリ居ルモノナルカ獨立  
 以來之ヲ實行スルノ必要ナクシテ大正十年ヲ以テ其年限ヲ経過セタリ  
 故ニ今日ニ於テハ自然消滅ニ歸シ、之ヲ存置スルモ之ヲ削除スルモ何  
 等實益ナキモノナルヲ以テ、之ヲ削除スルコトトナシタリ。

第二、條件中第七項ヲ削除シ政府保證ノ社債ノ償還年限ニ關スル制限ヲ除  
 ク。政府ニ於テ保證ノ社債ノ償還年限ハ起債ノ年ヨリ二十五ヶ年以内  
 ナルコトヲ條件トスルモノナルモ、金融市場ノ狀況ニ依ツテハ、更ニ  
 長期ノ起債ヲ爲スコトヲ便宜トスル場合アルヲ以テ、其ノ制限ヲ除去  
 シテ適當ニ之ヲ決定スルノ餘地ヲ存スルコトトスルモ、事ニ弊ナキヲ  
 以テ之ヲ削除スルコトトナシタリ

第三、第十項但書ニ追加シテ民間株式ニ對スル第二配當ヲ二分ヲ限度トシ

第一配當六分第二配當四分合セテ一額ノ配當ヲ爲シ來レリ、今回此ノ  
 額限ヲ緩和シテ會社ノ實狀ニ適スル配當ヲナスコトヲ得シメントスル  
 モノニシテ、其詳細ノ理由ハ次ニ述フル所ノ如シ

政府ニ増配シ得ル率ノ範圍内ニ於テ増加シ得ルコトトス。現在利益配  
 當ノ制限ニ關シテハ、會社ノ利益カ民間株主ニ對シテ年六分ノ配當ヲ  
 ナシ尙剩餘アルトキハ總株式ニ對シテ配當割合カ均一ニ至ル迄政府持  
 株ニ配當スルコトヲ本則トスルモ、政府株式ニ對シテ年四分三厘ノ配  
 當ヲナストキハ民間株主ニ對シテ年四分以内ノ第二配當ヲナスコトヲ  
 妨ケサルモノトセラレ大正十年以來昭和二年迄迄政府四分三厘、民間

（以下は右頁の逆順に読み取れる文字列）

二、滿鐵豫算外契約改定ノ理由

滿鐵ノ配當ハ豫算外契約第十項ニ於テ制限ヲ附シ會社ノ利益カ民間株主ニ對シテ年六分ノ第一配當ヲナシ尙剩餘アルトキハ總株式ニ對シテ配當割合カ均一ニ至ル迄政府持株ニ配當スルコトヲ本則トシテ獨ク政府持株ニ對シテ年四分三厘ノ配當ヲナストキハ民間株主ニ對シテ年四分以内ノ第二配當ヲナスコトヲ妨ケサルモノトナスモノナルコト前記セル通りニシテ大正十年以來昭和二年度迄政府四分三厘民間第一配當六分第二配當四分合セテ一割ノ配當ヲ爲シ來レリ

然ルニ近時會社ノ利益カ増加ヲ見ルニ伴ヒ利益配當ハ元來其ノ營業狀態ニ應ジテ増減セラルヘキモノナルニ拘ラス此ノ如キ制限ヲ設ケテ融通性ヲ乏シカラシムルハ社業ノ健全ナル發達ヲ促ス所以ニアラサルコトヲ囑ヘラル、ニ至リタリ、蓋民間株主側ヨリ見レハ會社カ營業狀態良好ナルモ其ノ配當ニ影響ナキハ株主ヲシテ其ノ事業ニ無關心ナルコトヲ求ムルノ結果トナリ又會社經營者ノ側ヨリ見レハ社員（同時ニ功勞株ノ配當等ニ依リテ株主タルモノアリ又然ラサル者ト雖）ハ其ノ努力ニ依リテ其營

(4.1 續前頁)





Vertical columns of Japanese text, likely a list or detailed report, arranged in a grid-like format. The text is dense and covers most of the page area.

(表第 1)

テ政府ニ於テ其ノ株式配當額ヲ増加スルコトモ之レハ同時ニ南滿洲鉄  
路鐵關係ニ於テ相當ノ負擔ヲ増加スルヲ以テ此ノ方面ヨリ觀ルモ増配ノ  
理由ヲ有スルモノニシテ後ニ民間株主ノ増配ニ迫置均括セントスルモノ  
ニアラサルナリ

三、南滿洲鐵道株式會社ニ關スル豫算外契約ノ沿革

第一、當初ノ文書

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元利ノ支拂保證ノ契約ヲ爲ス爲香國鐵會ノ協贊ヲ經タルモノ左ノ如シ

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(明治四十年二月二十二日) 南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ並社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日開印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關鐵道、大房身柳樹屯間、大石橋

營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯蓋順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸業並鐵道便益ノ爲續業殊ニ蓋順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年內ニ四呎八吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ內大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯蔵ニ必要ナル諸設備ヲ

(3.1 續前)

明治三十八年十二月二十二日開印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關鐵道、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯蓋順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸業並鐵道便益ノ爲續業殊ニ蓋順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年內ニ四呎八吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ內大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯蔵ニ必要ナル諸設備ヲ

(3.1 續前)

一 資本總額ハ二億圓トシ毎公算年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ過セサルトキハ政府ハ該立登記ノ日ヨリ起算シ十五箇年同ヲ限り之ヲ補給スルコト  
 二 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト  
 三 毎公算年度ニ於ケル利益配當カ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト  
 四 鐵道ノ收額又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必  
 要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト  
 五 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ當ニ政府ニ屬セサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル金額ヲ超過セサルコト  
 六 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年以内ニ償還スルコト

(附則 1.)

一 資本總額ハ二億圓トシ毎公算年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ過セサルトキハ政府ハ該立登記ノ日ヨリ起算シ十五箇年同ヲ限り之ヲ補給スルコト  
 二 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト  
 三 毎公算年度ニ於ケル利益配當カ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト  
 四 鐵道ノ收額又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必  
 要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト  
 五 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ當ニ政府ニ屬セサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル金額ヲ超過セサルコト  
 六 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年以内ニ償還スルコト

十四 該社ノ株主總額ノ額額ハ該社ノ資本額ノ二十五分ノ半額ニ至リ得ルノ場合ニ  
 題中ノ利益分配金額ノ額額ハ該社ノ利益額ノ額額ノ半額ニ至リ得ルノ場合ニ  
 六 該社ノ株主總額ノ額額ハ該社ノ利益額ノ額額ノ半額ニ至リ得ルノ場合ニ  
 五 該社ノ利益額ノ額額ハ該社ノ利益額ノ額額ノ半額ニ至リ得ルノ場合ニ  
 四 該社ノ利益額ノ額額ハ該社ノ利益額ノ額額ノ半額ニ至リ得ルノ場合ニ  
 三 該社ノ利益額ノ額額ハ該社ノ利益額ノ額額ノ半額ニ至リ得ルノ場合ニ  
 二 該社ノ利益額ノ額額ハ該社ノ利益額ノ額額ノ半額ニ至リ得ルノ場合ニ  
 一 該社ノ利益額ノ額額ハ該社ノ利益額ノ額額ノ半額ニ至リ得ルノ場合ニ

- 八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込登記ノ  
 翌月ヨリ政府ハ其ノ社債ノ利子ニ相當スル金額ヲ相給スルコト
- 九 株主ノ拂込金ニ對スル利益配當年六分ノ割合ヲ超過スルニ至リタル  
 トキハ其ノ超過ノ金額ハ先ツ社債ノ利子ニ充當スルコト此ノ場合ニ  
 於テハ前項相給金ハ該充當額ヲ控除シテ下付スルコト
- 十 會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尚ホ剩餘アルトキハ該剩餘ハ該  
 株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一二五ルマテ之ヲ日府兩國政府特  
 殊ニ配當スルコト
- 十一 第二項及第八項ニ規定シタル政府ノ相給金ハ之ニ二年六分ノ割合ノ  
 利子ヲ付シ之ヲ毎年元金ニ加算シ政府ニ對スル會社ノ債務トスルコ  
 ト
- 十二 會社ノ總株式ニ對スル利益配當力年一割ヲ超過スルニ至リタルト  
 キハ其ノ超過額ハ前項債務ノ償還ニ充ツルコト



一、大正三年三月二十八日事業經營ノ爲同社ノ發行スル社債ニ對シ現  
 ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額二千萬圓ノ元利支拂保  
 證ノ據募外契約公布セラレタリ此種能ハ實行セラレスシテ止ミタ  
 リ  
 二、大正九年八月一日事業經營ノ爲同社ノ外國ニ於テ發行スル社債ニ  
 對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額一億圓ノ元利支  
 拂保證ノ據募外契約公布セラレタリ第十九回外債四百萬圓ノ元利  
 保證ハ此種能ニ基キタルモノナリ  
 三、利益配當ニ付テ  
 會社ノ利益ガ社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該剩餘ハ總株式ノ各  
 拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ル迄之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スル  
 コトノ條件ナリシヲ左ノ通追加改正ヲ加ヘタリ  
 四、大正三年三月ニ至リ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當ガ年二分  
 ノ割合ニ達シタルトキハ株式ノ拂込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エ  
 サル範圍内ニ於テ第二配當ヲ爲シ得ルコトニ追加セラレタリ

三、利益配當ニ付テ

一、大正三年三月二十八日事業經營ノ爲同社ノ發行スル社債ニ對シ現  
 ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額二千萬圓ノ元利支拂保  
 證ノ據募外契約公布セラレタリ此種能ハ實行セラレスシテ止ミタ  
 リ  
 二、大正九年八月一日事業經營ノ爲同社ノ外國ニ於テ發行スル社債ニ  
 對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額一億圓ノ元利支  
 拂保證ノ據募外契約公布セラレタリ第十九回外債四百萬圓ノ元利  
 保證ハ此種能ニ基キタルモノナリ  
 三、利益配當ニ付テ  
 會社ノ利益ガ社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該剩餘ハ總株式ノ各  
 拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ル迄之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スル  
 コトノ條件ナリシヲ左ノ通追加改正ヲ加ヘタリ  
 四、大正三年三月ニ至リ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當ガ年二分  
 ノ割合ニ達シタルトキハ株式ノ拂込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エ  
 サル範圍内ニ於テ第二配當ヲ爲シ得ルコトニ追加セラレタリ

サハ、同前ノ旨ニ依テ、第二配當ニ付テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 ノ、同前ノ旨ニ依テ、サハ、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 (大正三年三月三日) 日本銀行、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 一、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 二、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 三、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 四、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 五、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 六、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 七、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 八、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 九、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ  
 十、同前ノ旨ニ依テ、其ノ新ハ、ヒイニ、配當サセ、ルベシ

大正八年四月ニ至リ前項第二配當割合ヲ増加改訂シテ日支兩國政  
 府持株ニ對スル利益配當ガ年三分五厘ノ割合ニ進シタルトキハ株  
 主ノ拂込金ニ對シ年四分ノ割合ヲ超エザル範圍内ニ於テ第二配當  
 ヲ爲シ得ルコト、セリ  
 (大正九年八月ニ至リ同社ノ資本總額ニ億圓ヲ四億四千萬圓ニ改メ  
 同時ニ前項第二配當割合ニ付左ノ通改訂セリ  
 即日支兩國政府持株ニ對スル利益配當ガ年四分三厘ノ割合ニ進シ  
 タルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分ノ割合ヲ超エザル範圍内ニ  
 於テ第二配當ヲ爲シ得ルコト、セリ

一、明治四十三年三月二十六日公布  
 二、明治四十三年三月二十六日公布  
 三、明治四十三年三月二十六日公布  
 四、明治四十三年三月二十六日公布  
 五、明治四十三年三月二十六日公布  
 六、明治四十三年三月二十六日公布  
 七、明治四十三年三月二十六日公布  
 八、明治四十三年三月二十六日公布  
 九、明治四十三年三月二十六日公布  
 十、明治四十三年三月二十六日公布  
 十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 二十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 三十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 四十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 五十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 六十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 七十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 八十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十一、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十二、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十三、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十四、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十五、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十六、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十七、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十八、明治四十三年三月二十六日公布  
 九十九、明治四十三年三月二十六日公布  
 一百、明治四十三年三月二十六日公布

参 照

(一) 明治四十三年三月二十六日公布  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社社債保題  
 南滿洲鐵道株式會社社債利益配當及社債利子ニ對スル補給並社債元利支拂  
 保題ニ關スル條件中第六號ヲ左ノ通變更ス  
 六 政府ニ於テ保題スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セザルコ  
 ト  
 前項ニ依リ保題スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝  
 國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス  
 (二) 明治四十三年三月二十六日公布  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府カ保  
 題ヲ爲スモノノ外更ニ額面金額四千萬圓ヲ限リ元利支拂ノ保題ヲ爲ス  
 コトヲ得  
 (三) 大正三年三月二十八日公布

四六五三三三二二十八日公告

一、大正八年四月四日公告  
二、大正八年四月四日公告  
三、大正八年四月四日公告  
四、大正八年四月四日公告  
五、大正八年四月四日公告  
六、大正八年四月四日公告  
七、大正八年四月四日公告  
八、大正八年四月四日公告  
九、大正八年四月四日公告  
十、大正八年四月四日公告

一、大正八年四月四日公告  
二、大正八年四月四日公告  
三、大正八年四月四日公告  
四、大正八年四月四日公告  
五、大正八年四月四日公告  
六、大正八年四月四日公告  
七、大正八年四月四日公告  
八、大正八年四月四日公告  
九、大正八年四月四日公告  
十、大正八年四月四日公告

電 通

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給社債元利支拂保證ニ關シ豫算外國庫ノ負擔ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中第十項ニ左ノ但書ヲ追加ス

但日支南滿政府持株ニ對スル利益配當カ年二分ノ割合ニ違シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス

南滿洲鐵道株式會社社債保證

南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノノ外更ニ額面金額貳千萬圓ヲ限り元利支拂ノ保證ヲ爲スコトヲ得

四六五三三三二二十八日公告

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

南滿洲鐵道株式會社利益配當





南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得  
 一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日關印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關橫濱間、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺及坑間、蘆家屯蘆順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸業並鐵道利益ノ爲領業殊ニ運送及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ

既現行滿鐵豫算外契約

豫算外關庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(明治四十年二月二十二日公布)

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

- 一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日關印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關橫濱間、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺及坑間、蘆家屯蘆順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸業並鐵道利益ノ爲領業殊ニ運送及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ

一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日開始シ、其時ニ關スル日附書  
 情マ致メ、其後、支那マ發達スル、國情マ變マエ、イマ朝  
 市況既變遷シ、支那ニ往シ、其ノ利益、明會ニ歸ル、其ノ  
 一 明治三十八年十二月二十二日開始シ、其時ニ關スル日附書  
 情マ致メ、其後、支那マ發達スル、國情マ變マエ、イマ朝  
 市況既變遷シ、支那ニ往シ、其ノ利益、明會ニ歸ル、其ノ

大 藏 省

三 箇年内ニ四呎八吋半ノ軌間ニ改築シ、大連長春間ノ内大連蘇家屯間  
 ヲ根據ト爲シ、又、最近主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊、食事及貨物ノ貯蔵ニ  
 必要ナル設備ヲ爲シ、鐵路ノ港灣ニ連スル地點ニ於テ水陸運輸ノ連  
 絡ニ必要ナル設備ヲ爲スコト

二 資本總額ハ金四億四千萬圓トシ、毎營業年度ニ於ケル利益配當力日  
 清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ、年六分ノ割合ニ進マサルトキ  
 ハ政府ハ設立登記ノ日ヨリ起算シ、十五箇年間ヲ限り、之ヲ補給スルコ  
 ト（大正九八一改正）

三 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ、日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込  
 金ニ對シ、年六分ノ割合ヲ超過セサルコト

四 毎營業年度ニ於ケル利益配當力株主ノ拂込金ニ對シ、年六分ノ割合

大 藏 省

四 該會資本實收額ハ其ノ所定額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會  
 金ニ積ル年六次ノ割合ニ移積ナサレドモ土庫五割額ノ移積  
 三 貸付利息積立金ハ其ノ所定額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會  
 一 (大正六八年一〇五)  
 一 該會ハ獨立受託ノ日ヨリ該會ノ十正額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會  
 二 資本總額ハ金四萬圓ノ千圓ノ一ノ割合額定資本額ニ至ラズハ該會  
 三 該會ハ其ノ所定額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會  
 四 該會ハ其ノ所定額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會  
 五 該會ハ其ノ所定額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會  
 六 該會ハ其ノ所定額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會  
 七 該會ハ其ノ所定額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會  
 八 該會ハ其ノ所定額額定資本額ノ半ニ至ラズハ該會

五 鐵道ノ收帳又ハ附帯事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理  
 債還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍  
 必要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト  
 六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セサルコ  
 ト  
 前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國  
 議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス(明治四三、三、二六改正)  
 七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年以内ニ償還スル  
 コト  
 八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込登記





十二、會社ハ其ノ利益ハ、南滿洲鐵道株式會社ニ對シテ、  
 第一、南滿洲鐵道株式會社ニ對シテ、其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元  
 利ノ支拂保證ノ契約ヲナス爲帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノノ當初ノ文言  
 ハ左ノ如シ  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（明治四十年二月二十二日）  
 南滿洲鐵道株式會社ニ對シテ、其ノ利益配當及社債利子ノ補給  
 一、會社ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附  
 屬協約ニ依リ大連長春間、南滿鐵道、大房身柳樹屯間、大石橋  
 營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯撫順間及奉天安東驛間ノ鐵道運輸  
 乘取鐵道便益ノ爲額乘取ニ應順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、  
 倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ  
 受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年内ニ四呎八  
 吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ内大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿  
 道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯藏ニ必要ナル諸設備ヲ

十二、會社ハ其ノ利益ハ、南滿洲鐵道株式會社ニ對シテ、  
 第一、南滿洲鐵道株式會社ニ對シテ、其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元  
 利ノ支拂保證ノ契約ヲナス爲帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノノ當初ノ文言  
 ハ左ノ如シ  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（明治四十年二月二十二日）  
 南滿洲鐵道株式會社ニ對シテ、其ノ利益配當及社債利子ノ補給  
 一、會社ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附  
 屬協約ニ依リ大連長春間、南滿鐵道、大房身柳樹屯間、大石橋  
 營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯撫順間及奉天安東驛間ノ鐵道運輸  
 乘取鐵道便益ノ爲額乘取ニ應順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、  
 倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ  
 受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年内ニ四呎八  
 吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ内大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿  
 道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯藏ニ必要ナル諸設備ヲ

一 爲シ線路ノ港灣ニ達スル地點ニ於テ水陸運輸ノ連絡ニ必要ナル設備ヲ爲スコト  
 二 資本總額ハ二億圓トシ毎營業年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ設立並配ノ日ヨリ起算シ十五箇年間ヲ限り之ヲ補給スルコト  
 三 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト  
 四 毎營業年度ニ於ケル利益配當カ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト  
 五 鐵道ノ改良又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト  
 六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ常ニ政府ニ屬セサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ超過セサルコト  
 七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年以内ニ償還スルコト

一 爲シ線路ノ港灣ニ達スル地點ニ於テ水陸運輸ノ連絡ニ必要ナル設備ヲ爲スコト  
 二 資本總額ハ二億圓トシ毎營業年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ設立並配ノ日ヨリ起算シ十五箇年間ヲ限り之ヲ補給スルコト  
 三 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト  
 四 毎營業年度ニ於ケル利益配當カ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト  
 五 鐵道ノ改良又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト  
 六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ常ニ政府ニ屬セサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ超過セサルコト  
 七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年以内ニ償還スルコト

十 過剰ニ成リ得ルノ利益ハ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十一 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十二 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十三 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十四 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十五 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十六 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十七 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十八 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 十九 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト  
 二十 過剰ニ成リ得ル利益及金源ノ増進ニ對シテ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付戻スルコト

ト  
 八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込金配ノ  
 翌月ヨリ政府ハ其ノ社債ノ利子ニ相當スル金額ヲ補助スルコト  
 九 株主ノ拂込金ニ對スル利益配當年六分ノ割合ヲ超過スルニ至リタル  
 トキハ其ノ超過ノ金額ハ先ツ社債ノ利子ニ充當スルコト此ノ場合ニ  
 於テハ前項補助金ハ該充當額ヲ控除シテ下付スルコト  
 十 會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尚ホ剩餘アルトキハ該剩餘ハ總  
 株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ルマテ之ヲ日清兩國政府特  
 殊ニ配當スルコト  
 十一 第二項及第八項ニ規定シタル政府ノ補助金ハ之ニ年六分ノ割合ノ  
 利子ヲ付シ之ヲ毎年元金ニ加算シ政府ニ對スル會社ノ債務トスルコ  
 ト  
 十二 會社ノ總株式ニ對スル利益配當力年一割ヲ超過スルニ至リタルト  
 キハ其ノ超過額ハ前項債務ノ償還ニ充ツルコト

十二、右計算外契約ノ件中改正ヲ爲シタル條項ノ沿革ヲ明ニスレバ左ノ如シ

一、資本總額ハ四億四千万圓（二億圓）トシ毎營業年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ送セサルトキハ政府ハ設立登記ノ日ヨリ起算シ十五年ヲ限り之ヲ補給スルコト

（大正九年八月一日改正）

六、政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セサルコト

常ニ政府ニ屬セサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ超過セサルコト（明治四十三年三月改正）

前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借借ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス（明治四十三年三月改正）

正ニ依リ新ニ追加

十、會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該殘額ハ株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一二至ルマテ之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スルコト但シ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當力年四分三厘（三分五厘）大正九年八月二日改正

大正八年四月十五日改正

ノ割合ニ送シタルトキハ株主ノ拂

第二、右計算外契約ノ件中改正ヲ爲シタル條項ノ沿革ヲ明ニスレバ左ノ如

シ

一、資本總額ハ四億四千万圓（二億圓）トシ毎營業年度ニ於ケル利益配當

カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ送セサルト

キハ政府ハ設立登記ノ日ヨリ起算シ十五年ヲ限り之ヲ補給スルコト

（大正九年八月一日改正）

六、政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セサルコト

常ニ政府ニ屬セサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ超

過セサルコト（明治四十三年三月改正）

前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借借ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議

會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス（明治四十三年三月改正）

正ニ依リ新ニ追加

十、會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該殘額ハ株式

ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一二至ルマテ之ヲ日清兩國政府持株ニ配

當スルコト但シ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當力年四分三厘（三分五厘）大正九年八月二日改正



第三、右改正ノ議會ノ協賛ヲ受ケタル正文ヲ掲グルコト次ノ如シ  
 (一) 明治四十三年三月二十五日  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社社債保證  
 南滿洲鐵道株式會社社債利益配當及社債利子ニ對スル福給並社債元利支  
 拂保證ニ關スル條件中第六號ヲ左ノ通變更ス  
 六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セザル  
 コト  
 前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度  
 帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス  
 (二) 大正三年三月二十七日  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社社債保證  
 南滿洲鐵道株式會社社債利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ  
 關シ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約

第三、右改正ノ議會ノ協賛ヲ受ケタル正文ヲ掲グルコト次ノ如シ  
 (一) 明治四十三年三月二十五日  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社社債保證  
 南滿洲鐵道株式會社社債利益配當及社債利子ニ對スル福給並社債元利支  
 拂保證ニ關スル條件中第六號ヲ左ノ通變更ス  
 六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セザル  
 コト  
 前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度  
 帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス  
 (二) 大正三年三月二十七日  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社社債保證  
 南滿洲鐵道株式會社社債利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ  
 關シ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約

開々之ニ帝國議會ノ議案ニ應々々ノ裁裁我國事ノ裁裁ナリトシテハキ美時  
南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當

大正八年四月四日

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當  
南滿洲鐵道株式會社利益配當

ヲ爲スヲ要スル件中第十項ニ左ノ但書ヲ追加ス  
但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年二分ノ割合ニ定シタル  
トキハ株主ノ拂込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ  
更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス

南滿洲鐵道株式會社債保

南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府カ  
保證ヲ爲スモノノ外更ニ額面金額貳千萬圓ヲ限り元利支拂ノ保證ヲ  
爲スコトヲ得

大正八年四月四日

南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ  
關シ後ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約  
ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス  
但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年三分五厘ノ割合ニ定シ

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
 於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ訪ケス  
 大正九年八月一日  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社利益配當  
 南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ  
 關シ義ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約  
 ヲ爲スヲ要スル件中左ノ通改定ス  
 第二項中「貳億圓」ヲ「四億四千萬圓」ニ改ム  
 第十項中「三分五厘」ヲ「四分三厘」ニ改ム  
 南滿洲鐵道株式會社社債保證  
 南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲外國ニ於テ募集スル社債ニ對シ  
 現ニ政府カ保證ヲ爲スモノノ外額面金額壹億圓ヲ限リ元利支拂ノ保  
 證ヲ爲スコトヲ得

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
 於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ訪ケス  
 大正九年八月一日  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社利益配當  
 南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ  
 關シ義ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約  
 ヲ爲スヲ要スル件中左ノ通改定ス  
 第二項中「貳億圓」ヲ「四億四千萬圓」ニ改ム  
 第十項中「三分五厘」ヲ「四分三厘」ニ改ム  
 南滿洲鐵道株式會社社債保證  
 南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲外國ニ於テ募集スル社債ニ對シ  
 現ニ政府カ保證ヲ爲スモノノ外額面金額壹億圓ヲ限リ元利支拂ノ保  
 證ヲ爲スコトヲ得

明治四十年二月二十一日公布豫算外國庫  
 ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件  
 一、本文中「利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲」ヲ削ル  
 理由 一般株主ニ對スル配當保證ハ設立登記ノ日ヨリ十五年ヲ限ルモ  
 ノナルヲ以テ今日ニ於テハ最早自然消滅セルモノナリ  
 社債利子相當額ヲ政府ヨリ補給セムトスルモノナルモ今日ニ於  
 テハ最早其ノ必要ヲ認メサルモノナリ  
 二、第二項削除  
 理由 右二項共一般株主ニ對スル配當保證ハ設立登記ノ日ヨリ十五年  
 ヲ限ルモノナルヲ以テ今日ニ於テハ最早自然消滅セルモノナリ  
 三、第三項削除  
 理由 會社ノ配當カ年六分ノ割合ヲ超過スルコトニツキ危惧ナキ限り  
 本項ノ必要ナク而カモ其ノ結果トシテ種々ノ束縛制限ヲ伴フモ  
 ノナルヲ以テ之ヲ削除セムトス  
 四、第四項削除  
 理由 會社ノ配當カ年六分ノ割合ヲ超過スルコトニツキ危惧ナキ限り  
 本項ノ必要ナク而カモ其ノ結果トシテ種々ノ束縛制限ヲ伴フモ  
 ノナルヲ以テ之ヲ削除セムトス

明治四十年二月二十一日公布豫算外國庫  
 ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件  
 一、本文中「利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲」ヲ削ル  
 理由 一般株主ニ對スル配當保證ハ設立登記ノ日ヨリ十五年ヲ限ルモ  
 ノナルヲ以テ今日ニ於テハ最早自然消滅セルモノナリ  
 社債利子相當額ヲ政府ヨリ補給セムトスルモノナルモ今日ニ於  
 テハ最早其ノ必要ヲ認メサルモノナリ  
 二、第二項削除  
 理由 右二項共一般株主ニ對スル配當保證ハ設立登記ノ日ヨリ十五年  
 ヲ限ルモノナルヲ以テ今日ニ於テハ最早自然消滅セルモノナリ  
 三、第三項削除  
 理由 會社ノ配當カ年六分ノ割合ヲ超過スルコトニツキ危惧ナキ限り  
 本項ノ必要ナク而カモ其ノ結果トシテ種々ノ束縛制限ヲ伴フモ  
 ノナルヲ以テ之ヲ削除セムトス  
 四、第四項削除  
 理由 會社ノ配當カ年六分ノ割合ヲ超過スルコトニツキ危惧ナキ限り  
 本項ノ必要ナク而カモ其ノ結果トシテ種々ノ束縛制限ヲ伴フモ  
 ノナルヲ以テ之ヲ削除セムトス

一、本文中「株主」を「株主」に改め、  
 二、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 五、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 六、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 七、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 八、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 九、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十一、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十二、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十三、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十四、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十五、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十六、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十七、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十八、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 十九、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十一、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十二、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十三、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十四、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十五、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十六、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十七、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十八、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 二十九、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十一、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十二、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十三、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十四、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十五、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十六、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十七、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十八、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 三十九、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十一、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十二、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十三、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十四、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十五、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十六、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十七、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十八、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 四十九、同文中「株主」を「株主」に改め、  
 五十、同文中「株主」を「株主」に改め、

其第七項削除

理由 償還年限ヲ二十五年ニ制限スル必要ナケレハナリ

其第八項削除

其第九項削除

理由 右二項共社債利子相當額ヲ政府ヨリ補給セムトスルモノナルモ今日ニ於テハ最早其ノ必要ヲ認メサルモノナリ

其第十項ヲ左ノ通改ム

毎營業年度ニ於ケル利益配當カ政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年一割ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對スル利益配當ハ年四分三厘トス政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年一割ヲ超過スル利益配當ヲ爲サムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受ケ且政府ノ持株ニ對シ其ノ超過率ト同率ノ追加配當ヲ爲スコト

理由 會社ノ利益配當ハ會社ノ成績ニ從ヒ増減セラルヘキコト一般經濟ノ原則ニシテ強テ之ヲ制限スルハ却ツテ社業ノ健全ナル發達ヲ促ス所以ニアラサルナリ依テ現行ノ四分三厘一割以上増配ノ



第一案 豫算外契約第十項但書ヲ左ノ如ク改ムル案  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社利益配當  
 南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ義ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス  
 但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年四分三厘乃至七分ノ割合ニ達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分乃至六分ノ範圍内ニ於テ更ニ政府ノ定ムル割合ノ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス  
 說明。政府、民間株式ニ對シ平等配當ノ精神ハ形式上ニ於テモ之ヲ維持スルノ必要アルノミナラス命令書第十五條第二項ノ規定ニ之ヲ見ルモ又過去ノ實績ニ徴スルモ其必要アル所ナリ。而シテ政府配當四分三厘以上トナレハ總テ之ヲ政府ノミニ増配スルコトトナスハ事情ニ適セサルモノアルヲ以テ其增加率ニ

滿鐵利益配當率増加ニ關スル案  
 第一案 豫算外契約第十項但書ヲ左ノ如ク改ムル案  
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社利益配當  
 南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ義ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス  
 但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年四分三厘乃至七分ノ割合ニ達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分乃至六分ノ範圍内ニ於テ更ニ政府ノ定ムル割合ノ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス  
 說明。政府、民間株式ニ對シ平等配當ノ精神ハ形式上ニ於テモ之ヲ維持スルノ必要アルノミナラス命令書第十五條第二項ノ規定ニ之ヲ見ルモ又過去ノ實績ニ徴スルモ其必要アル所ナリ。而シテ政府配當四分三厘以上トナレハ總テ之ヲ政府ノミニ増配スルコトトナスハ事情ニ適セサルモノアルヲ以テ其增加率ニ



第一案 株式會社ニ對シテ  
 第二案 株式會社ニ對シテ  
 第三案 株式會社ニ對シテ  
 第四案 株式會社ニ對シテ  
 第五案 株式會社ニ對シテ  
 第六案 株式會社ニ對シテ  
 第七案 株式會社ニ對シテ  
 第八案 株式會社ニ對シテ  
 第九案 株式會社ニ對シテ  
 第十案 株式會社ニ對シテ  
 第十一案 株式會社ニ對シテ  
 第十二案 株式會社ニ對シテ  
 第十三案 株式會社ニ對シテ  
 第十四案 株式會社ニ對シテ  
 第十五案 株式會社ニ對シテ  
 第十六案 株式會社ニ對シテ  
 第十七案 株式會社ニ對シテ  
 第十八案 株式會社ニ對シテ  
 第十九案 株式會社ニ對シテ  
 第二十案 株式會社ニ對シテ  
 第二十一案 株式會社ニ對シテ  
 第二十二案 株式會社ニ對シテ  
 第二十三案 株式會社ニ對シテ  
 第二十四案 株式會社ニ對シテ  
 第二十五案 株式會社ニ對シテ  
 第二十六案 株式會社ニ對シテ  
 第二十七案 株式會社ニ對シテ  
 第二十八案 株式會社ニ對シテ  
 第二十九案 株式會社ニ對シテ  
 第三十案 株式會社ニ對シテ  
 第三十一案 株式會社ニ對シテ  
 第三十二案 株式會社ニ對シテ  
 第三十三案 株式會社ニ對シテ  
 第三十四案 株式會社ニ對シテ  
 第三十五案 株式會社ニ對シテ  
 第三十六案 株式會社ニ對シテ  
 第三十七案 株式會社ニ對シテ  
 第三十八案 株式會社ニ對シテ  
 第三十九案 株式會社ニ對シテ  
 第四十案 株式會社ニ對シテ  
 第四十一案 株式會社ニ對シテ  
 第四十二案 株式會社ニ對シテ  
 第四十三案 株式會社ニ對シテ  
 第四十四案 株式會社ニ對シテ  
 第四十五案 株式會社ニ對シテ  
 第四十六案 株式會社ニ對シテ  
 第四十七案 株式會社ニ對シテ  
 第四十八案 株式會社ニ對シテ  
 第四十九案 株式會社ニ對シテ  
 第五十案 株式會社ニ對シテ  
 第五十一案 株式會社ニ對シテ  
 第五十二案 株式會社ニ對シテ  
 第五十三案 株式會社ニ對シテ  
 第五十四案 株式會社ニ對シテ  
 第五十五案 株式會社ニ對シテ  
 第五十六案 株式會社ニ對シテ  
 第五十七案 株式會社ニ對シテ  
 第五十八案 株式會社ニ對シテ  
 第五十九案 株式會社ニ對シテ  
 第六十案 株式會社ニ對シテ  
 第六十一案 株式會社ニ對シテ  
 第六十二案 株式會社ニ對シテ  
 第六十三案 株式會社ニ對シテ  
 第六十四案 株式會社ニ對シテ  
 第六十五案 株式會社ニ對シテ  
 第六十六案 株式會社ニ對シテ  
 第六十七案 株式會社ニ對シテ  
 第六十八案 株式會社ニ對シテ  
 第六十九案 株式會社ニ對シテ  
 第七十案 株式會社ニ對シテ  
 第七十一案 株式會社ニ對シテ  
 第七十二案 株式會社ニ對シテ  
 第七十三案 株式會社ニ對シテ  
 第七十四案 株式會社ニ對シテ  
 第七十五案 株式會社ニ對シテ  
 第七十六案 株式會社ニ對シテ  
 第七十七案 株式會社ニ對シテ  
 第七十八案 株式會社ニ對シテ  
 第七十九案 株式會社ニ對シテ  
 第八十案 株式會社ニ對シテ  
 第八十一案 株式會社ニ對シテ  
 第八十二案 株式會社ニ對シテ  
 第八十三案 株式會社ニ對シテ  
 第八十四案 株式會社ニ對シテ  
 第八十五案 株式會社ニ對シテ  
 第八十六案 株式會社ニ對シテ  
 第八十七案 株式會社ニ對シテ  
 第八十八案 株式會社ニ對シテ  
 第八十九案 株式會社ニ對シテ  
 第九十案 株式會社ニ對シテ  
 第九十一案 株式會社ニ對シテ  
 第九十二案 株式會社ニ對シテ  
 第九十三案 株式會社ニ對シテ  
 第九十四案 株式會社ニ對シテ  
 第九十五案 株式會社ニ對シテ  
 第九十六案 株式會社ニ對シテ  
 第九十七案 株式會社ニ對シテ  
 第九十八案 株式會社ニ對シテ  
 第九十九案 株式會社ニ對シテ  
 第一百案 株式會社ニ對シテ

大藏省

第二案  
 但シ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當力年四分三厘ノ割合ニ達シタル  
 トキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ又年四  
 分三厘以上ノ割合ニ達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ政府ノ定ムル割  
 合ニ於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス  
 説明。本案ト第一案トノ差ハ政府四分三厘以上ノ配當ノ場合ニ於ケル  
 民間第二配當ヲ政府ニ於テ任意ニ定メ得ルモノトナシタル點ニ  
 在リ

第二案 豫算外契約第十項但書ヲ左ノ如ク改ムル案  
 但シ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當力年四分三厘ノ割合ニ達シタル  
 トキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ又年四  
 分三厘以上ノ割合ニ達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ政府ノ定ムル割  
 合ニ於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス  
 説明。本案ト第一案トノ差ハ政府四分三厘以上ノ配當ノ場合ニ於ケル  
 民間第二配當ヲ政府ニ於テ任意ニ定メ得ルモノトナシタル點ニ  
 在リ

大藏省

第三案 現在ノ繰算外契約中社債元利拂ノ保證ノ缺點ノミヲ存シ他ハ之ヲ  
 削除スルノ協賛ヲ求メ増配ハ命令書ヲ以ナスルノ案

說明。社債元利拂ノ支拂保證ト他トハ相輔聯セサルモノトシ、  
 社債元利拂ノ支拂保證ノミヲ存置シ、他ハ之ヲ削除スレ  
 ハ命令書ヲ以テ自由ニ定メ得ルトノ説ニ基ク

第三案 現在ノ繰算外契約中社債元利拂ノ保證ノ缺點ノミヲ存シ他ハ之ヲ  
 削除スルノ協賛ヲ求メ増配ハ命令書ヲ以ナスルノ案

說明。社債元利拂ノ支拂保證ト他トハ相輔聯セサルモノトシ、  
 社債元利拂ノ支拂保證ノミヲ存置シ、他ハ之ヲ削除スレ  
 ハ命令書ヲ以テ自由ニ定メ得ルトノ説ニ基ク

社債元利拂ノ支拂保證ノミヲ存置シ、他ハ之ヲ削除スレハ命令書ヲ以テ自由ニ定メ得ルトノ説ニ基ク

第三案 現在ノ豫算外契約ヲ其儘トナシ置キ命令書ノ増配ノ規定ノミヲ改  
 正スル案  
 説明・利益配當ノ保証ニ關スル限リ本豫算外契約ハ其目的ヲ失  
 ヒ居ルモノナルヲ以テ之ニ拘束セラル、ノ必要ナク命令  
 書ヲ以テ適宜改メ得ルトノ説ニ基ク

第四案 現在ノ豫算外契約ヲ其儘トナシ置キ命令書ノ増配ノ規定ノミヲ改  
 正スル案  
 説明・利益配當ノ保証ニ關スル限リ本豫算外契約ハ其目的ヲ失  
 ヒ居ルモノナルヲ以テ之ニ拘束セラル、ノ必要ナク命令  
 書ヲ以テ適宜改メ得ルトノ説ニ基ク





第十一條中「前二款及」ヲ削除ス

第十條 前項

第九條 前項

第八條 前項

第七條 前項

第六條 前項

第五條 前項

第四條 前項

第三條 前項

第二條 前項

第一條 前項

支那一國債權管理委員會ヲ設キ以テ該會ノ事務ヲ掌シ且該會ノ委員ハ該國ノ債權者ノ代表トシテ之ヲ充テシメ且該會ノ事務ハ該國ノ債權者ノ利益ヲ保護スルニ在リ

滿鐵豫算外契約ノ改訂ニ關スル説明

明治四十年二月帝國議會ノ協贊ヲ經タル滿鐵豫算外契約ハ政府ニ於テ同會社ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ故其ノ社債元利ノ支拂ヲ保證スルモノニシテ、十二項ニ亘ルノ條件ヲ以テセルモノナリ。其後右條件中ニハ數次改訂ヲ加ヘラレタル所アリテ今日ニ及ベルモノナルガ、今回更ニ之ニ改訂ヲ加ヘントスルモノニシテ、各改訂ノ個所ニ付テ其ノ理由ヲ説明スレハ次ノ如シ

第一、本文中

本文中ニ於テ「利益配當ノ補給ヲナスコト」ヲ削除ス

(説明) 利益配當ノ補給ハ條件第二及第三ニ規定スル所ニシテ、毎營業年

度ノ利益配當ガ民間株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ達セザルトキハ、設立登記(即チ明治三十九年十二月七日)ノ日ヨリ起算

(4.1 續前項)





同法其後... (Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side)

(29) 附則 1, 2

(説明) 本項ハ社債利子ノ補給ノ條件トシテ民間株主ニ對スル利益配

當ガ年六分ノ割合ヲ超過スルニ至リタルトキハ其超過額ヲ以  
テ社債ノ利子ニ充テ尙不足スル金額ヲ補給スルコト、ナスモ  
ノナルガ、第二項及第三項並第四項ヲ削除シタルノ結果、社  
債利子ノ支拂ハ之ヲ經費トシテ支拂ヒタル後配當シ得ベキ利  
益ヲ算出スベキモノニシテ、此ノ如キ民間株主優遇ノ規定ヲ  
ナスノ必要ナキニ至レルヲ以テ、之ヲ削除スルコト、ナシタ  
リ。

其第十項但書追加削除

(説明) 本項ハ利益配當ノ制限ニ關シ、會社ノ利益ガ民間株主ニ對シ

テ年六分ノ配當ヲナシ尙剩餘アルトキハ總株式ニ對シテ配當

(4,1) 附則 1

其時、政府は、(引用) 本國へ産業興隆、開墾を奨励し、會場を併進せしめ、開墾を主として、  
 其時、政府は、(引用) 本國へ産業興隆、開墾を奨励し、會場を併進せしめ、開墾を主として、  
(引用) 本國へ産業興隆、開墾を奨励し、會場を併進せしめ、開墾を主として、

(1914年)

割合が均一に至る迄政府持株に配當スルコトヲ本則トシテ、  
 政府株式ニ對シテ年四分三厘ノ配當ヲナストキハ民間株  
 主ニ對シテ年四分以内ノ第二配當ヲナスコトヲ妨ゲザルモノ  
 トナスモノニシテ、大正十年以來昭和二年度迄政府四分三厘、  
 民間第一配當六分第二配當四分合セテ一割ノ配當ヲ爲シ來レ  
 然ルニ近時會社ノ利益が增加ヲ見ルニ伴ヒ利益配當ハ元來其  
 ノ營業狀態ニ應ジテ増減セラルベキモノナルニ拘ラズ、此ノ  
 如キ制限ヲ設ケテ融通性ヲ乏シカラシムルハ社業ノ健全ナル  
 發達ヲ促ス所以ニアラザルコトヲ唱ヘラル、ニ至リタリ。蓋  
 シ民間株主側ヨリ見レバ會社が營業狀態良好ナルモ其配當ニ

(1914年)

其の(一)は、  
 其の(二)は、  
 其の(三)は、  
 其の(四)は、  
 其の(五)は、  
 其の(六)は、  
 其の(七)は、  
 其の(八)は、  
 其の(九)は、  
 其の(十)は、

(附表 1.1)

影響ナキハ株主ヲシテ其ノ事業ニ無關心ナルコトヲ求ムルノ  
 結果トナリ又会社経営者ノ側ヨリ見レハ社員(同時ニ功勞株  
 ノ配當等ニ依リテ株主タル者アリ又然ラザル者ト雖)ハ其ノ  
 努力ニ依リテ其營業狀態ヲ良好ナラシムルモ其ノ結果ガ配當  
 ニ現ハレザルヲ以テ其經營者ヲ刺激スルノ所以ニアラザルコ  
 トハ人情ノ免レザル所ナリトスルナリ。故ニ現在ノ配當割合  
 以上ニ利益ヲ生ズル場合ニ於テハ政府民間共ニ其配當割合ヲ  
 増加シ得ルノ途ヲ開クノ必要アリトス。而シテ漸微ニ於テハ  
 近時社業ノ隆盛ニ伴ヒ昭和三年度決算ニ於テ政府民間共ニ一  
 分宛其配當ヲ増加シ政府五分三厘、民間一割一分ト爲スノ可  
 能性ヲ認メ得ルニ付此際利益配當補給ノ條件トナリ得ル此ノ

(1.1 附表)







十 該社ニ其ノ利益ノ一部ハ補助金トシテ其ノ利益ノ一部ニ充テ  
 應付スルハ其ノ利益ノ一部ニ充テ其ノ利益ノ一部ニ充テ  
 六 該社ノ利益ノ一部ハ補助金トシテ其ノ利益ノ一部ニ充テ  
 五 該社ノ利益ノ一部ハ補助金トシテ其ノ利益ノ一部ニ充テ  
 四 該社ノ利益ノ一部ハ補助金トシテ其ノ利益ノ一部ニ充テ  
 三 該社ノ利益ノ一部ハ補助金トシテ其ノ利益ノ一部ニ充テ  
 二 該社ノ利益ノ一部ハ補助金トシテ其ノ利益ノ一部ニ充テ  
 一 該社ノ利益ノ一部ハ補助金トシテ其ノ利益ノ一部ニ充テ

八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込登記ノ  
 翌月ヨリ政府ハ其ノ社債ノ利子ニ相當スル金額ヲ補助スルコト  
 九 株主ノ拂込金ニ對スル利益配當年六分ノ割合ヲ超過スルニ至リタル  
 トキハ其ノ超過ノ金額ハ先ツ社債ノ利子ニ充當スルコト此ノ場合ニ  
 於テハ前項補助金ハ該充當額ヲ控除シテ下付スルコト  
 十 會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支持ヒ尚ホ剩餘アルトキハ該剩餘ハ該  
 株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ルマテ之ヲ日清用國政府持  
 株ニ配當スルコト  
 十一 第二項及第八項ニ規定シタル政府ノ補助金ハ之二年六分ノ割合ヲ  
 利子ヲ付シ之ヲ毎年元金ニ加算シ政府ニ對スル會社ノ債務トスルコ  
 ト  
 十二 會社ノ總株式ニ對スル利益配當カ年一兩ヲ超過スルニ至リタルト  
 キハ其ノ超過額ハ前項債務ノ償還ニ充ツルコト

十二 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 十三 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 十四 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 十五 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 十六 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 十七 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 十八 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 十九 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十一 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十二 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十三 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十四 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十五 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十六 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十七 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十八 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 二十九 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ  
 三十 會社ノ業務及利益ノ分配ニ關シテ

第二、其後ノ改訂

右條算外契約ニ對シテノ期ク數次ノ改正アリタリ

一、社債元利支拂保證ニ付テ

政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ當ニ政府以外ノ株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル總額ヲ超過セザル範圍ニ限定セラレ得リシ  
 明治四十三年三月ニ至リ之ヲ改訂シテ政府ニ於テ保證スベキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セザル範圍トセリ但シ政府ノ保證スル社債金額ハ當管ノ場合ヲ除クノ外其ノ都府帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ條件トセリ

参考、右改訂ノ條件ニ基キ

(1) 明治四十三年三月二十六日事業經營ノ爲同社ノ發行スル社債ニ對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額四千萬圓ノ元利支拂保證ノ算外契約公布セラレタリ  
 第四回社債（外債）六百萬圓元利保證ノ内四百萬圓ハ此保證ニ基キタルモノナリ

中...  
 一、大正三年三月二十八日事業經營ノ爲同社ノ發行スル社債ニ對シ現  
 ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額二千萬圓ノ元利支拂保  
 證ノ豫算外契約公布セラレタリ此種能ハ實行セラレズニ止マタリ  
 二、大正九年八月一日事業經營ノ爲同社ノ外國ニ於テ發行スル社債ニ  
 對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額一億圓ノ元利支  
 拂保證ノ豫算外契約公布セラレタリ第十九回外債圓百萬圓ノ元利  
 保證ハ此種能ニ蓋キタルモノナリ  
 三、利益配當ニ付テ  
 會社ノ利益ガ社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該種債ハ總株式ノ各  
 持込高ニ對シ配當割合均一ニ至ル迄之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スル  
 コトノ條件ナリシヲ左ノ趣追加改正ヲ加ヘタリ  
 四、大正三年三月ニ至リ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當ガ年二分  
 ノ割合ニ達シタルトキハ株式ノ持込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エ  
 サル範圍内ニ於テ第二配當ヲ爲シ得ルコトニ追加セラレタリ  
 五、大正八年四月ニ至リ前項第二配當割合ヲ増加改訂シテ日支兩國政

大正三年

三、利益配當ニ付テ

四、大正三年三月二十八日事業經營ノ爲同社ノ發行スル社債ニ對シ現  
 ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額二千萬圓ノ元利支拂保  
 證ノ豫算外契約公布セラレタリ此種能ハ實行セラレズニ止マタリ  
 五、大正九年八月一日事業經營ノ爲同社ノ外國ニ於テ發行スル社債ニ  
 對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額一億圓ノ元利支  
 拂保證ノ豫算外契約公布セラレタリ第十九回外債圓百萬圓ノ元利  
 保證ハ此種能ニ蓋キタルモノナリ  
 六、利益配當ニ付テ  
 會社ノ利益ガ社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該種債ハ總株式ノ各  
 持込高ニ對シ配當割合均一ニ至ル迄之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スル  
 コトノ條件ナリシヲ左ノ趣追加改正ヲ加ヘタリ  
 七、大正三年三月ニ至リ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當ガ年二分  
 ノ割合ニ達シタルトキハ株式ノ持込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エ  
 サル範圍内ニ於テ第二配當ヲ爲シ得ルコトニ追加セラレタリ  
 八、大正八年四月ニ至リ前項第二配當割合ヲ増加改訂シテ日支兩國政

大藏省



同式五八等其... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...

参 照

〔一〕明治四十三年三月二十六日公布

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社社債保證

南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子ニ對スル補給並社債元利支拂保  
 證ニ關スル條件中第六條ヲ左ノ題變更ス

六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セザルコト  
 前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國  
 議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ要ス

〔二〕明治四十三年三月二十六日公布

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件  
 南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府カ保證  
 ヲ爲スモノノ外更ニ額面金額四千萬圓ヲ限リ元利支拂ノ保證ヲ爲スコト  
 ヲ得

〔三〕大正三年三月二十八日公布

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

大正三年三月二十八日公布

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ  
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ  
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ  
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ  
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ

大 蔵 省

南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ  
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ  
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ

南滿洲鐵道株式會社社債保證

南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府カ保證  
ヲ爲スモノノ外更ニ額面金額貳千萬圓ヲ限リ元利支拂ノ保證ヲ爲スコト  
ヲ得

大正八年四月四日公布

南滿洲鐵道株式會社利益配當  
及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ



